

0950

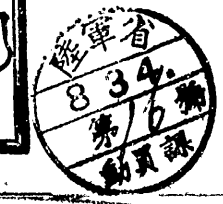
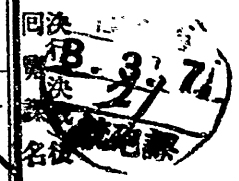
0949

房官臣大		課局務主			大臣	件名	受番 號領	保存期限 永久
了結	領受	出提	領受	號番				
昭和 年 月	昭和 年 三月 八日	昭和 八年 三月 八日	昭和 八年 三月 三日	其 號 番 五 三	<p>政務 次官</p> <p>參 事 官</p> <p>審 判 官</p>	第八第十第十四師團司令部教育關係件	密 受 第 二 五 號	政務 決裁指定 保存期限 永久
(裁決)行決後 覽同		連帶						
長局		長局						
長課		長課			審 判 官 筆 記 者	起元廳(課)名 教育總監部	同決 決 名後	8.3.7 17 審判課

4 密
二一五
号

政務次官
回付

決裁前
連帶
課名





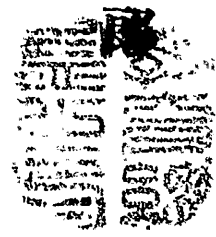
教庶第四五四號

第八、第十及第十四師團留守部隊ノ教育ニ
關スル件照會

昭和八年三月二日

教育總監 林 銑十

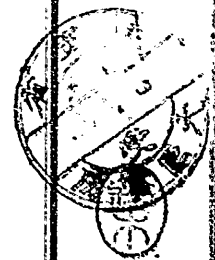
陸軍大臣 荒木貞夫殿



首題ノ件ニ關シ別紙ノ通訓令致度

追テ異存ナクハ上聞ニ達スヘク申添フ

二五



陸軍

第八、第十及第十四師團留守部隊教育關スル訓令

教訓第



號

昭和八年四月
教育總監部

秘
教育第 號

第八、第十及第十四師團留守部隊ノ教育ニ
關スル訓令案

第八、第十及第十四師團留守部隊ノ教育ハ軍隊教育令ニ
據ルノ外當分内別紙ニ據リ實施スヘシ

昭和八年三月 日

教育總監

林 銑十郎

別紙

第八、第十及第十四師團留守部隊ノ教育ニ関スル規定
第一 留守部隊ニ於ケル一般教育中部隊ヲ以テスル教練ハ

概ネ左記ニ據リ實施スルモノトス

左記

歩兵 主トシテ中隊ヲ以テスル教練ヲ實施ス

但機關銃及歩兵砲ニ在リテハ分隊ヲ以テスル教練ヲ

實施ス

騎兵 主トシテ中隊ヲ以テスル教練ヲ實施ス

砲兵 主トシテ中隊ヲ以テスル教練ヲ實施ス

工兵 主トシテ中隊ヲ以テスル作業教練ヲ實施ス

前記以上ノ部隊ヲ以テスル教練ハ勉メテ機會ヲ設ケテ實

施スルモノトス

第二 野砲兵聯隊留守部隊ニ於ケル射撃演習實施ニ関シテハ

別ニ砲兵監ヲシテ指示セシム

第三 歩兵聯隊留守隊及野砲兵聯隊留守隊ニ於ケル大隊教練

ノ檢閲ハ之ヲ行ハサルコトヲ得

本訓令案ニ對スル説明

一本訓令ハ第八、第十及第十四師團留守部隊ノ編制改正ニ
伴ヒ教育上特異ノ事項ニ関シ規定セルモノナリ

ニ一般教育ハ概ネ軍隊教育令教育順次表ニ據リ實
施シ得ルモ兵力ノ關係上順次表ノ定ムル所ニ從ヒ難キモノ
アルカ故ニ軍隊ノ實情ニ應スル範圍ニ於テ部隊ヲ以
テスル教練ノ標準ヲ示シタリ

前記標準以上ノ部隊ヲ以テスル教練ハ勤務演習教
育等ノ機會ニ於テ實施シ以テ兵科本然ノ能力ヲ保持
シ得ル如クセリ

尚幹部ニ對シテハ此ノ如キ機會ヲ利用シ大ナル部隊ノ指揮
技能ニ就キ向上ヲ計ルハキモノナリ

三砲兵ニ在リテハ射撃演習ノ實施ニハ警戒等ノ勤務ノ
 爲多數ノ兵カヲ要シ留守部隊單獨ニ行ヒ難キモ
 ノアルカ故ニ當時ノ情況ニ應シ砲兵監ニ於テ適宜
 規定ニ施行セシムルコトトセリ
 四歩砲兵留守部隊ニ於ケル大隊教練ノ檢閲ハ其編制
 ニ鑑ミ實行困難ナルモノアルヘキカ故ニ之ヲ行ハサルコトヲ
 得ルコトトセリ

門

三三〇

教密第一六六號

第八、第十及第十四師團留守部隊、教育ニ

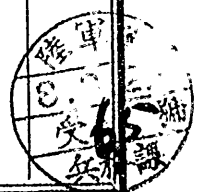
關スル訓令ノ件 通牒

昭和八年三月十三日 教育總監部本部長 香椎浩

陸軍次官 柳川平助殿

首題ノ件ニ關シ別冊ノ通訓令セラレタルニ付通牒

ス



別冊表
三月廿七日 兵器

陸軍

0960

秘
教訓第三號

第八、第十及第十四師團
留守部隊ノ教育ニ關スル
訓令

昭和八年三月
教育總監部

1960

秘

教訓第三號

第八、第十及第十四師團留守部隊ノ教育ニ關スル訓令
第八、第十及第十四師團留守部隊ノ教育ハ軍隊教育令ニ據ルノ外當分
ノ内別紙ニ據リ實施スヘシ

昭和八年三月十三日

教育總監 林 銑 十 郎

第八、第十及第十四師團留守部隊ノ教育ニ關スル規定

第一 留守部隊ニ於ケル一般教育中部隊ヲ以テスル教練ハ概ネ左記ニ據リ實施スルモノトス

左記

歩兵 主トシテ中隊ヲ以テスル教練ヲ實施ス

但機關銃及歩兵砲ニ在リテハ分隊ヲ以テスル教練ヲ實施ス

騎兵 主トシテ中隊ヲ以テスル教練ヲ實施ス

砲兵 主トシテ中隊ヲ以テスル教練ヲ實施ス

工兵 主トシテ中隊ヲ以テスル作業教練ヲ實施ス

前記以上ノ部隊ヲ以テスル教練ハ勉メテ機會ヲ設ケテ實施スルモ

ノトス

第二 野砲兵聯隊留守隊ニ於ケル射撃演習實施ニ關シテハ別ニ砲兵
監ヲシテ指示セシム

第三 歩兵聯隊留守隊及野砲兵聯隊留守隊ニ於ケル大隊教練ノ檢閲
ハ之ヲ行ハサルコトヲ得

二

第八、第十及第十師團留守部隊ノ教育ニ關スル訓令說明

一 本訓令ハ第八、第十及第十師團留守部隊ノ編成法ニ
伴ヒ教育上特異ノ事項ニ關シ規定セルモノナリ

二 一般教育ハ概テ軍隊教育令ノ教育項次表ニ據リ實施シ
得ルモ兵力ノ關係上頭次表ノ定ケル所ニ從ヒ難キモノアルカ
故ニ軍隊ノ實情ニ應スル範圍ニ於テ部隊ヲ以テスル教
練ノ標準ヲ示レタリ

前記標準以上ノ部隊ヲ以テスル教練ハ勤務湯習教育等
ノ機會ニ於テ實施スルニ以テ兵科亦然ノ能力ヲ保持シ得ル如
クセリ

尚幹部ニ對シテハ此ノ妙法機會ヲ利用シ大ナル部隊ノ指
揮技能ニ就キ向上ヲ計シヤクモノナリ

三 砲兵ニ在リテハ射擊湯習、演習ニハ警戒等ノ勤務ノ
為多ク數ノ兵力ヲ要シ留守部隊單獨ニ行ヒ難キモノアル
カ故ニ此當時ノ狀況ニ應シ砲兵監ニ於テ適宜規定シ

禮行セシムルコトナリ

四 歩 砲兵隊 砲隊ニ於テハ大隊教練ノ檢閲ハ其簡潔ニ
鑑ミテ廣行團ヲ編スルモノアリテカ故ニ之ヲ行ハサレドモ得
ルナトナリ